

北海道NPO情報



NPO推進北海道会議
北海道NPOサポートセンター
北海道NPOバンク
NPOバンク事業組合
北海道NPO越智基金

発行 北海道情報宣伝研究会
札幌市中央区北4条西12丁目
1976年7月9日第3種郵便物認可
定価 100円

【2005年10月号】

市民活動を支える制度を強化しよう！

もくじ	ページ
NPO法人会計講座	1
「新しい公共」を考える横浜会議	2
越智基金2005年助成/はじめてのボランティア	3
コミュサポ/コラム	4
研修日記/バンク情報/法人	5
NPOサポート事業紹介	6
NPOな・・・(書籍・イベント紹介)	7
CB支援相談窓口開設、起業・就業講座開催	8
情報BOX(イベント案内)	9
助成金情報	10~12



今月号は助成金情報満載です！

NPO法人会計講座開講のお知らせ

～短期集中5回講座 11月11日開講～

毎回ご好評いただいている会計講座のご案内です。簿記の基礎を学び、NPOならではの勘定科目を使った仕訳(振替伝票記入)等の練習問題をやってみます。講習時に使用する会計ソフトは「会計王5 NPO Limited」です。ソフトの扱い方を中心にパソコン入力もたくさん練習します。最終的には決算書を作成し、財務諸表の見方などを学びます。

今回は講習中に、個別質問に対応する時間を用意して、それぞれの団体の事情に合わせたアドバイスができるようカリキュラムを組んでいます。ご参加ください。

日時/第1回 11月11日(金) 18:00~20:00	第2回 11月12日(土) 14:00~16:00
第3回 11月18日(金) 18:00~20:00	第4回 11月19日(土) 14:00~16:00
第5回 11月25日(金) 18:00~20:00	

場 所 / 北海道NPOサポートセンター会議室(札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2階)

講 師 / 小沼 千佳子 (北海道NPOサポートセンター会計担当)

定 員 / 10名程度(最少催行人員3名)

受講料 / 10,500円(税込み、初回納入)

締切り / 11月9日(水) 先着順。(定員になり次第締め切ります。)

参加対象者 / パソコンの文字入力できる方

問合せ・申込み / TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

Eメール npo@mb.infosnow.ne.jp (担当 小沼・神)

主 催 / NPO法人北海道NPOサポートセンター

「新しい公共」を考える横浜会議のご案内

「NPO活動推進自治体フォーラム横浜大会」&「コラボレーションフォーラム横浜」

開催概要 日程：2005年11月7日(月)・8日(火)

会場：パシフィコ横浜 会議センター(みなとみらい線みなとみらい駅下車 徒歩3分・JR桜木町駅下車 徒歩12分)

主催：NPO活動推進自治体フォーラム横浜大会実行委員会(佐賀県・千葉県・札幌市・浜松市・横浜市) / 協働推進会議実行委員会

市民と自治体がともに手を取り合って「新しい公共」を作る社会に変えていくため、「NPO活動推進自治体フォーラム横浜大会」「コラボレーションフォーラム横浜2005」を横浜で共同開催します!

プログラム 11月7日(月)

11時~13時 ポスターセッション Part1「地域の活動を知らう!」(申込不要・観覧自由)

13時15分~14時45分 オープニングセッション(対談)「身近な地域の課題から『新しい公共』を拓く」

<対談者> 北川 正恭(早稲田大学大学院公共経営研究科教授、前三重県知事) 林 泰義(まちづくりプランナー)
(コーディネーター)前田 正子(横浜市副市長) <参加費> 無料

15時~17時30分 分科会 (引き続き11月8日9時15分~11時45分にも開催)

次の4つのテーマについて、さまざまな事例を通して考えます。

第1分科会 「協働をすすめるための行政職員の意識改革」

第2分科会 「行政のNPOへの財政支援はどこまで行われるべきか」

第3分科会 「協働事業の提案制度を通じた実践とその評価のあり方」

第4分科会 「『新しい公共』を支えるための関係づくり」

<参加費> 第1~第4分科会：2,000円(11/7・8)

ポスターセッション Part2「地域課題への取り組み方を探る『はじまる・つながる・協働(コラボ)する』」

18時~19時30分 情報交換・交流会 <参加費> 3,000円

市民・NPO関係者・自治体職員が一堂に会します。情報交換・交流の機会に、ぜひご参加ください。

11月8日(火)

9時15分~11時45分 分科会 初日に実施した4つの分科会に加えて、新たに3つのテーマの分科会を実施。

第1~第4分科会：前日から引き続き実施

第5分科会 「地域への参画 はじめの一步」

第6分科会 「地域の多様なネットワーク」

第7分科会 「『新しい公共』を担う地域の仕組み」

<参加費> 第5~第7分科会：1,000円(11/8のみ)

12時45分~13時45分 全体会 7つの分科会からの報告を行います。 <参加費> 無料

(進行) 田尻 佳史(特定非営利活動法人日本NPOセンター事務局長)

14時00分~16時00分 知事・市長セッション「市民とともに『新しい公共』をつくる」 <参加費> 無料

<出演> 古川 康(佐賀県知事) 堂本 暁子(千葉県知事) 上田 文雄(札幌市長) 北脇 保之(浜松市長)

中田 宏(横浜市長) <コーディネーター> 跡田 直澄(慶應義塾大学商学部教授)

参加申込方法 参加をご希望の方は、参加申込書をFAXか郵送でお申し込みください。申込〆切~10月20日(木)

お問い合わせ先 横浜市 市民協働推進事業本部 協働推進課内「新しい公共」を考える横浜会議実行委員会事務局

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 045-671-3624 FAX 045-664-0734

市民活動全道フォーラム2005

報告 実行委員・高井俊和(WACCA)

2005年10月3日(日)かでの2・7で恒例の市民活動全道フォーラム(主催/市民活動全道フォーラム2005実行委員会、共催/NPO法人北海道NPOサポートセンター、北海道立市民活動促進センター)が開催され、200名以上が参加しました。第5回目の今回は、IHOE(人と組織と地球のための国際研究所)代表の川北秀人さんに『NPOと行政とのより深い協働をめざして』と題し基調講演を行って頂きました。全国各地で年間100回の講演を行っている川北さんのお話には、全国各地の事例が豊富に盛り込まれ、大変濃厚なお話をして頂く事が出来ました。

午後の分科会では、活発な議論が交わされ充実したものとなりました。分科会終了後、団体間のネットワークも強まり、新たな活動が展開され始めたという嬉しい報告が届いています。

様々な相談コーナーや皮膚の疾患などをカバーするカモフラージュメイクの体験コーナーへも多くの方が訪れとても好評でした。

フォーラム当日の様子は、NHKテレビのニュースで放映され、北海道新聞、朝日新聞にも掲載されました。



NPO越智基金による2005年助成について

北海道NPO越智基金 代表理事 田口 晃

従来、越智基金では出来るだけ幅広く多彩な活動を支援してきました。創立から5年を数える本年から、立ち上げを試みている新しいグループ向けの一般応募と、一応活動が軌道に乗り、次のステップに備えている活動を対象にした指定応募との分け、若干減り張りをつけた支援方法を探ってみました。新しい試みなので少し時間もかけ、お待たせしましたが、9月9日理事会による決定も行われています。

応募団体は一般が37団体、指定が16団体でした。一般応募についてはこれまで通り、新たな試みに挑戦している方々を広く支援する方向で選出し、指定応募に関しては事業内容や社会的広がり、方向性等かなり綿密に検討しています。越智基金の助成が九牛の一毛程度にしかならない巨大団体に対しては遠慮させて頂きました。小規模活動の支援に当基金の使命があると考えているからです。

【2005年NPO越智基金助成金配分団体】35団体に195万円助成決定

〔一般〕旭川失語症友の会、木の実福祉会、北海道セクシャル・マイノリティ協会札幌ミーティング、藻岩山きのご観察会、苦小牧生と死を考える会、十勝こども三味線民謡音楽ヤングバツ、PCNET、ぶらいむほっと、北海道アウトドア協会、エヌピーオー太陽、虹の光 ひつじ工房、北海道自治体学会フォーラム in 札幌 実行委員会、ブレイルサービス、在宅学習支援<と・ざ・ん>、ファミリーサポート聖十字広場、くしろコミュニティバンク事業組合、駆け込みシェルター釧路、旭川女性会議、くしろ地球市民の会、嬉楽、北海道音楽療法センター、屋外介護支援、北海道たすけあいワーカーズ・ぼっけ、釧路地区障害老人を支える会(たんぼぼの会)、宮の森の環境を守る会、モンガくらぶ、編集工房 NODE、ezorock

〔指定〕旭川NPOサポートセンター、札幌チャレンジド、エスニコ、あいでっくすメタネットワーク、めいぶる共同作業所、札幌微助人倶楽部、さっぽろ自由学校「遊」



音楽イベントのボランティア募集中！

ただいま、「はじめてのボランティア」を募集しています。

「はじめて」とつけたのは、ボランティアをやったことのない方にも気軽に参加していただきたいからです。

もちろん、今までにボランティア経験のある方も大歓迎です。

アイヌ文化や沖縄音楽に興味のあるあなた、ぜひご応募ください！

内 容 「風人(かじびと)の祭り」2005・北海道
南ぬ風人まーちゃん、アイヌアートプロジェクトAINIKE(アイニけ)のライブイベントの準備と後片付けの補助と、ブースの売り子と片づけです。

日 時 10月30日(日)12:00~14:00、18:00~20:00(予定)
14~18時の間は、1,000円でライブを聴けます！(一般入場料は2,500円です。)
事前説明会(10月29日(土)10~12時)に出席していただきます(無料)

場 所 たまねぎ倉庫(東区北12条東13丁目)
地下鉄東豊線 環状通東駅 4番出口から南西方向徒歩5分くらい

申込期限 10月24日(月)

ひとこと！ アイヌ音楽・文化や沖縄の音楽・文化に触れることができます。
新しい出会いがひろがりますよ。

お申込・お問合せ さっぽろまちづくり隊実行委員会事務局
北海道NPOサポートセンター内(北村、谷口)
札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階
電話 011-204-6523 FAX 011-261-6524
E-mail taniguchi@npo-hokkaido.org

イベント内容の詳細はコチラをごらん下さい
「風人の祭 in 北海道 HP」
<http://rera.kiraku.org>

本事業は、文部科学省の「平成17年度地域ボランティア推進事業」の一環として行われます。



今年もやっています！コミュサポ事業

昨年度札幌広域圏（石狩支庁管内）8市町村で地域サポーター団体13団体とホームページ作成希望の110団体が参加して、コミュサポ事業を展開してきました。今年度は、新たに昨年参加した団体が新しい団体のサポートに廻るといった枠組みで取り組みます。地域のまちづくりを目標に、無料のホームページ作成ソフト「WEB Maker」をツールとして札幌広域圏組合の「コミュサポ」サーバーに市民活動団体100団体のホームページをアップする予定です。

札幌広域圏管内（札幌、石狩（厚田、浜益）、当別、新篠津、江別、北広島、恵庭、千歳の8市町村に所在する市民活動団体対象）の市民活動団体のみなさまへ。

地域で活動するボランティア、市民活動グループ、NPOなどの皆さん、自分たちの活動をホームページで紹介してみませんか？「でも、詳しい知識がないからなあ…」そんな心配はいりません。札幌広域圏組合の「コミュサポ」が、皆さんのホームページ運営を応援します。

コミュサポに参加し、団体のホームページつくりませんか！

昨年度に引き続き「コミュサポ」参加団体を募っています。今年度も6月以降28団体が新たに参加し、138団体がコミュサポサイトを活用しています。管内のより多くの市民活動団体が参加することによって、団体同士の横の連携も模索しています。是非参加してください。

▶ **募集・利用料** 募集团体数:100 団体 **利用料:無料**

▶ **参加申込** 「参加団体登録申請書」を参加団体の住所がある各市町村の担当窓口、直接持参、FAXのいずれかの方法で提出してください。

「参加団体登録申請書」は各市町村の担当窓口で配布しています。また、北海道NPOサポートセンターホームページからダウンロードすることもできます。各市町村の提出窓口は、札幌広域圏組合事務局までお問い合わせください。受付期間：2005年5月10日より--100団体になるまで！！

札幌広域圏組合 〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目明治安田生命札幌北一条西ビル3階

TEL：011-290-1313 FAX：011-290-1311

サポセンスタッフの落書きコラム

先日、秋の味覚「サンマ」をお腹いっぱい食べました。スーパーで新鮮なサンマが1本5～60円で手に入るなんて、やはり北海道に住んでいる特権でしょうか。「サンマ」は高級じゃないけれど（高級なものもあるそうですが・・・）、鮮度の良いものは最高に美味で、「幸せな気分」になりました。

さて、やや強引な展開ですが、国の成長指標と言えば国民総生産（GNP）しかないと思われがちですが、国の成長を「国民の幸福度」で計っている国があります。

その国の名は「ブータン」。場所は、大ざっぱに言ってインドの方です。このブータンが目指すものは、「GNP」の成長ではなくて、国民総幸福＝Gross National Happiness（GNH）であって、国民の幸福と満足度の向上であるといえます。（サンマがおいしくて幸せ！という指標はないでしょうが・・・）

そこで、そんなブータンの一面をちょっと見てみると・・・。

国土の72.5%が手付かずの自然のまま
 （森林面積が「増加」している世界でも稀な国）
 住んでいる全ての住民に完全無料の健康管理—
 （高低差のある土地にまばらに住んでいるので、訪問医療制度になっている）
 自由で平等な機会と性差別のない社会 などなど

（【参考】：日本ブータン友好協会発行「窓から見るブータン」）

そして、決して経済的成長を放棄したわけではないといえますから、す、すばらしい！と思いませんか？

一方、日本は「GNP」で世界第2位の国ですが、ブータンの一部を見ると日本は本当に豊かなのかなあ～、みんな幸せと思っているのかなあ～とってしまいます。ブータンのように、物質的な要求と精神的・文化的な要求の調和のとれた開発は、もしかすると全人類が望んでいることを実践している先駆的事例なのかもしれませんね。（私は望んでいます）

それにしても、「モノサシ」を換えると物の見方がガラリ！と変わりますよね。

秋の夜長に、もう少し研究してみたいテーマです。

（松本 公洋）

NPO研修日記

2005年度 その6



谷口 直子

「なつかしい味」

実りの秋ですね。

みなさんは、オンコの実を食べたこと、ありますか？

私が昔住んでいた家の庭にはオンコの木（イチイ）があって、ままごと遊びで大活躍していました。先日、小学校以来食べていなかった、オンコの実の懐かしい味を口にすることがあり、すっかり忘れていた幼い頃の光景が思い出されました。

食べ物の思い出は、学校帰りに道草をして、アカツメクサの甘い蜜を吸ったり、草の茎を食べたりしたこと。それから、夏休みには、ラジオ体操から帰ると、畑に行き、赤々と熟したトマトやイチゴを、Tシャツの裾でふいてそのまま丸かじりしていたこと。

遊びの思い出は、塀によじのぼって探検ごっこをしようとしたら、桜の木の下に毛虫がうじゃうじゃいて、びっくりしてあわてて引き返したことや、雨上がりの草むらに小さなかわいい蛙をみつけたこと、イタドリで水鉄砲を作ったこと、川で水切りをしたこと、ドジョウやウグイを捕ったこと、笹の葉で舟を造って川に流したこと、シロツメクサで冠を作ったこと、空き地の隅に捨ててあったタイルの中からきれいな柄のものをみつけて宝物にしたこと・・・

あのころの、見たり聞いたり触れたりしたものがおもしろくて、わくわくしていた気持ちがよみがえります。

子どもの頃のようにたくさんの遊ぶ時間はなくても、身近にある、ちいさなわくわくする出来事をたくさん見つけて、大切にしようと思えるだけで、いつでも生活を楽しめるということを忘れずにいたいと思いました。

NPOバンク融資申込みのお知らせ

第13回融資申込期間（予定）10月18日から11月2日まで / 融資実行12月中旬
融資申込みに際して必要な書類は下記 URL から取り出せます。

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2F
北海道NPOサポートセンター内 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524
npobank@npo-hokkaido.org http://npo-hokkaido.org/bank_hp/index.htm

特定非営利活動促進法に基づく申請受理数および認証数、不認証数等

内閣府ホームページから <http://www5.cao.go.jp/seikatsu/npo/data/pref.html>

全国の申請受理数「内閣府・北海道含む」 8月31日現在（内閣府のホームページ）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	24385	23186	165	490
道内の申請受理数 8月31日現在（北海道）	受理数	認証数	不認証数	解散数
	913	877	0	21

北海道内のNPO認証状況は道庁HP <http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-bssbk/npo.index.htm>

市民活動団体スタッフ養成講座（NPO・NGO スタッフトレーニング in 帯広）

10月15日開講（毎週ほぼ土/日）15回 主催：北海道立市民活動促進センター（担当：小椋、小泉）
TEL. 011-261-4440 FAX. 011-251-6789 E-mail staff@fureaizaidan.or.jp
詳細は <http://www.fureaizaidan.or.jp/npo.html>
帯広事務局：NPO法人 帯広NPO28サポートセンター TEL:0155-25-1455
E-mail: obinpo28@m2.octv.ne.jp URL:<http://www.octv.ne.jp-obinpo28/>

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位：円，税込)

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。

詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-271-5208

2004.7.1 改定

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料) 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)		基本料金	21,000~
NPO 法人代表印	登記に必要な法人代表者印鑑です(送料別)	1本	11,000
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します。	1枚	210
印刷(予約制) 黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は 良心的な印刷所を紹介)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します。 基本料金は製版1枚、紙代込みの場合です。 (厚紙や色紙は少し高くなります。 ご相談ください) A3まで印刷可、10枚以上~(両面は片面の倍)	片面 B5 1,000枚	2,738
		片面 A4 1,000枚	2,738
		片面 B4 1,000枚	3,438
		片面 A3 1,000枚	4,838
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します。(100枚単位) 片面初版代:315円、 両面初版代:525円が別途かかります。	片面 カラー	1,470
		片面 白黒	1,050
		両面 カラー	2,310
		両面 白黒	1,890
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅42cm)に印刷します。	片面のみ	1,575~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚 各	210
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります。	5枚以上 1枚	4,515
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	63~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、 提出までのサポートを行います。	介護保険 1事業所	10,500~
		支援費 1事業所	7,350~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします。	1事業所	2,625~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバー等による相談を随時受け付けております。(NPOサポセンスタッフが聞きし専門家にお伝えします) 法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産鑑定士、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

NPO推進北海道会議 / 北海道NPOサポートセンター / NPOバンク / NPO越智基金

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階 IP 050-7541-4799

電話番号011-204-6523, 011-242-4333 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間10:00~18:00(土、日、祝日は休む時があります)

北海道NPOサポートセンター相談センター・研修室 / NPO推進北海道会議分室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階

電話番号 011-271-5208, FAX番号 011-281-8807

通常業務時間10:00~18:00(月~土)(日、祝日休み) IP電話 050-7543-3291

引越し・旅行・車検のことなら**「札幌」はこび愛ネット**をご利用ください!ご存知かもしれませんが、飛んで!車いすの会をはじめ札幌チャレンジドなど10団体ほどが参加しているもので、札幌さんの商品を利用して、「NPOサポセンに還元して!」と言うと商品代金の5%が還元される仕組みです。どうやって利用するの?申し込みはとても簡単。下記の「はこび愛ネット」推進事務局にお電話ください。インターネットからの申し込みもできます。利用サービスは、引越し、旅行(札幌トラベル)、車検・自動車修理(札幌自工)と文房具(札幌商事)などの購入です(一部対象外あり)。ぜひご利用ください。

問い合わせ・申し込みは 札幌「はこび愛ネット」推進事務局

TEL(011)251-4111内線250番 FAX(011)231-7063

書籍案内

『NPOの参考書』

NPO法人向け諸届け出ガイドブック
事務所に1冊必携のマニュアルです。

- ・ 設立登記（法務局）
- ・ 登記完了届（道庁）
- ・ 変更登記（法務局）
- ・ 事業報告書等の提出（道庁）
- ・ 任期満了に伴う役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 任期途中の役員の変更（法務局と道庁）
- ・ 事務所移転（法務局と道庁）
- ・ 定款の変更（法務局と道庁）

諸届ひな型のCD付き

定価 2,100円（税込）

2005年5月28日発行

【問合せ】

北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523
FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



飛んでけ！ 車いすの会 映像記録製作

札幌発、世界50カ国へ、1000台を届けました!!

「飛んでけ！ 車いす」の会の活動の裏も表も見てください。

「Go!Fly! 飛んでけ！ 車いす」(56分)

VHS版・DVD版 個人用 3000円

団体用 5000円

【試写の感想】

「いろいろな人がこの映像を見ることで自分に来る何かを感じ取れるのではないのでしょうか。」

(南区のお母さん)

「撮影と構成のしっかりした第一級のドキュメンタリー作品です。」(トヨタ財団 青木さん)

「百聞は一見にしかずです。話だけでなく、現場も体験できます。」(豊平区 U子さん)

申込、お問い合わせは「飛んでけ！ 車いす」の会事務局 電話・FAX 011-242-8171
メール tondeke@anet.ne.jp



NPOな...

書籍案内

札幌市介護保険・福祉サービス事業所ガイドブック

好評発売中!

2004年12月発行

札幌市内の介護保険・福祉サービス事業所1,457箇所及び札幌市内にサービス提供する市外事業所(名称、住所等の基本情報のみ)、札幌市在宅介護支援センターの情報を掲載しています。サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなどの情報が満載!です。介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニデイ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所(今年から生活支援ハウスも掲載)を網羅。区別・サービス別・法人別、3種類の索引で探しやすいです。

■価格:2,000円(税込み)
A4判(470ページ)送料別途

【問合せ】北海道NPOサポートセンター
TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



ボラナビ.net



北海道を元気にする
ボランティア検索サイト

「ボラナビ.net」が10月にOPENします。

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi.net/>

抽選で一万円が当たる!「ボランティア体験記」も募集中(第2回締切11月30日)

お問合せは、

NPO法人 ボラナビ倶楽部まで

TEL/011-242-2042

FAX/011-242-2043

E-mail volunavi@npohokkaido.jp

北海道NPOサポートセンターでは、 コミュニティ・ビジネス支援相談窓口を開 設します。起業・就業講座を開催します。

- 【1】コミュニティ・ビジネスに関する相談窓口の開設
- (1) 相談体制 コミュニティ・ビジネス支援委員会委員
と北海道NPOサポートセンター事務局スタッフ
- (2) 相談窓口 北海道NPOサポートセンター・
相談センターに常設(相談はいつでも無料です)
(札幌市中央区北5条西6丁目札幌ビル8階)
- (3) 相談方法
1. 随時相談 平日午前10時30分～17時30分
(昼食時間等応接できない場合がありますので、
できるだけ事前に電話、FAX、メール等
ご連絡くださいますようお願い致します)

期間 平成17年10月11日(火)～
平成18年3月3日(金)

内容 事務局スタッフ対応

2. 専門家相談会(相談無料)

「随時相談」のうち

専門家のアドバイスを必要とする案件

日時をあらかじめ指定し事前申込者の相談受付
相談内容

- ・ 起業・経営相談(河西札幌学院大学教授)
- ・ 税務会計相談(瀧谷税理士)
- ・ 社会保険労務管理相談(小神社会保険労務士)
- ・ 法人登記、権利義務関係相談(大滝司法書士)
- ・ 事業・組織運営相談(小林委員、佐藤委員)
- ・ 資金繰りや会計事務(北村委員、小沼専門員)
- ・ 法人設立・運営(小林委員、山本専門員)
- ・ 就業規則や賃金規程(松本専門員)
- ・ IT利用促進(東川専門員)

【2】起業・就業講習(無料)

- (1) 「社会参加講習会」の開催

若年ニート、フリーター対象。定員30名 受講料無料
ビジネス化支援委員による講習

(座学、ワークショップ、実習、見学等)

第1回 12月10日(土)、11日(日)

両日午前10時～午後4時予定

第2回 2月11日(土)、12日(日)

両日午前10時～午後4時予定

土曜日午前10時～午後4時予定

1時限目 講義「起業・就業『働く』ということ」

佐藤隆NPO推進北海道会議事務局長

2時限目 アイスブレイキング

(CBやNPOの基礎知識の習得)松本公洋

3～4時限目 講義 コミュニティ・ビジネス

河西邦人札幌学院大学教授

5～6時限目 講義 思いをかたちに 事業趣旨

と事業計画モデル 小林董信、松本公洋

日曜日午前10時～午後4時予定

7～8時限目 講義とビデオ鑑賞または

CB先進事例に学ぶ(実習)

9～11時限目 CB・POWER ツアープラス1

(現地視察とCB代表者との座談会)または

実習

12時限目 まとめ

- (2) 「コミュニティ・ビジネス起業支援講座」

対象: 中高年齢者(団塊世代) 退職者 定員20人

11月5日, 12日, 19日, 26日, 12月3日(予定)

カリキュラム:

- 第1講 コミュニティ・ビジネス起業(小林委員)
- 第2講 コミュニティ・ビジネス入門(河西委員)
- 第3講 法人格を知ろう(大滝司法書士)
- 第4講 起業の“タネ”はどこにある?
(松本専門員)
- 第5講～第6講 夢を事業計画へ(松本専門員)
- 第7講 コミュニティ・ビジネスの資金調達
(瀧谷税理士、北村委員)
- 第8講 コミュニティ・ビジネスの事業運営
(小林委員、小神委員)
- 第9講 コミュニティ・ビジネスのマーケティング
(河西委員)
- 第10講 まとめのワークショップ
(松本専門員、山本専門員)

【3】情報の提供

「相談窓口」「起業支援講座」「社会参加講習」や北海道労働局、北海道経産局、北海道、札幌市、ハローワーク等のCB, 雇用対策部署と情報交換し、情報提供します。(事務局常時対応)。平成17年10月11日スタート。

コミュニティ・ビジネス支援委員会(7名)

河西邦人 札幌学院大学大学院教授 (委員長)

佐藤隆 NPO推進北海道会議事務局長

大滝和子 司法書士

瀧谷和隆 税理士

小神英男 社会保険労務士・行政書士

北村美恵子 北海道NPO越智基金事務局長

(貸金業務取扱主任者)

小林董信 北海道NPOサポートセンター事務局長

コミュニティ・ビジネス支援事務局専門員(6名)

総括責任者 小林董信

実施責任者 松本公洋

会計支援 小沼千佳子

法人設立・運営支援 山本純子

IT支援 東川佳子

金融相談 北村美恵子

この事業は、「北海道コミュニティ・ビジネス協議会」と連携して実施します

【この事業は、厚生労働省からの委託事業です】。

【問い合わせ窓口】

北海道NPOサポートセンター相談センター

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

札幌ビル8階

TEL 011-271-5208(担当:松本)

FAX 011-281-8807

e-mail npo@npo-hokkaido.org

注目! 江別

2004年2月にスタートした江別市民活動・協働ネットワーク懇談会では、9月27日「市民活動センター創設に向けての提言書」を小川公人市長に提出しました。

提言書は、江別の市民協働の現状と課題、来春にも開設予定のセンターを具体的にイメージした内容が盛り込まれています。

10月22日(土)には、「市民活動見本市」が開催されます。

とき 10月22日(土) 10:00～16:00

ところ 外輪船(旧岡田倉庫・江別市2条1丁目)

情報BOX

2005年度第6回移送サービス運転協力者講習会
この講習は、2004年3月に国土交通省が示した道路
運送法第80条に基づく法的位置付け「NPO、市区町村
社会福祉協議会、社会福祉法人、医療法人などによる有償
運送の許可」(通称：ガイドライン)に示された「移送サ
ービス運転協力者講習会」です。

開催日：10月29日(土)・30日(日)
場所：札幌市北区北7条西5丁目5-3 札幌千代田ビ
ル11F 定員：60人
参加費：10,000円(STネット北海道会員)
13,000円(STネット北海道非会員)

締切は、10月21日(金)になっております。
主催：北海道移送・移動サービス連絡会(STネット北海道)
共催：移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会
後援(予定)：北海道、北海道社会福祉協議会、札幌市、札
幌市社会福祉協議会、DPI北海道ブロック会議、
北海道NPOサポートセンター、北海道介護NPO
連絡会、さっぽろ介護NPO支援ネット

問合せ・申込先：STネット北海道事務局
〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目1-55
ほくろうビル5階 DPI北海道ブロック会議内
TEL：011-219-5687
FAX：011-219-5688
<http://www.stnet-hokkaido.jp/>
e-mail：info@stnet-hokkaido.jp

=====

グラウンドワーク三島の取組みから学ぶ

～「住民アクション」が地域を変える～
昨今、地域が注目され、市民参加やパートナーシップとい
う言葉が広く聞かれるようになってきているが、本当に住民が
主体となって地域や社会を変えていくにはどうしたらいい
のでしょうか。今回のセミナーでは、そのために必要な
各アクターの役割や連携のしくみ、合意の取り方などを、
グラウンドワーク三島の先進的な取組みから学びます。

特定非営利活動法人「グラウンドワーク三島」とは
92年、日本で最初に英国のグラウンドワーク手法を導入
し、市内の市民団体が中心になって水辺の自然環境の再生
を目指して設立されました。現在までに21を超える団
体が参加し、川の美化、絶滅した水中花ミシマバイカモの
復活、湧水地の再生、ホタルの里づくりなど市内34箇所で
具体的な実践活動を展開しています。

グラウンドワーク三島のホームページ
<http://www.gwmishima.jp/index.htm>

[日時] 10月23日(日) 13:00～16:00
[会場] 北海道環境サポートセンター 多目的ホール
(札幌市北区北7条西5丁目5番札幌千代田ビル1階)
[講師] 渡辺 豊博氏
(特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 事務局長)
東京農工大農学部卒。'77年、静岡県庁入庁。'88年、
地域総参加による源兵衛川親水公園事業担当。静岡県
生活・文化部NPO推進室長を経て財団法人静岡総合
研究機構研究室長、静岡大学客員教授

[参加費] 500円 [定員] 50名(定員になり次第締切)
[主催] 市民参加と市民自治研究会、(財)北海道環境財団
[問い合わせ・申し込み先] お名前・連絡先・所属を添
えて下記までお申込み下さい。
(財)北海道環境財団 TEL：011-707-7011
FAX：011-707-7770(月～金 10:00～18:00)
土・日は環境サポートセンターまで
TEL：011-707-9025

【環境NGOのための組織マネジメント講座】

「環境NGOにとってのマネジメントの課題とは
なんだろう。～ねおすから学ぶNGOマネジメント」
環境NPOである「ねおすグループ」の事例をもとに、
みなさんの目標を達成するために必要な人材育成や資金
調達、協働の手法などについて、改善企画をつくりま
す!

[日時] 2005年12月3日(土) 10:00～18:00
12月4日(日) 10:00～16:00

[場所] かでる2.7(札幌市中央区北2西7)1010室
[対象] 環境NGO・NPOのスタッフあるいはテーマに
関心のある方

[定員] 30名(先着順) [参加費] 2000円
[スケジュール] 12/3(土)

セッション1 事業における資金調達の事例と課題
話題提供者：荒井 一洋(大雪山自然学校 代表)
セッション2 NPO法人ねおすの人材育成システム
話題提供者：高木 晴光(NPO法人ねおす 代表)
セッション3 行政との協働
話題提供者：遠藤 潤
(登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山)
その後、懇親会(希望者)を予定
12/4(日)

「課題解決に向けた企画づくり」ワークショップ
セッション4 各団体のミッション・目的の整理
セッション5 課題を目標へブレイクダウンする
セッション6 課題解決型企画づくり発表

ふりかえり
コーディネーター・ファシリテーター
宮本 英樹(NPO法人ねおす 専務理事)

助言・評価者
川村 研治(地球環境パートナーシッププラザ)
大西 かおり(大杉谷自然学校 代表)
[主催] 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金
[申し込み・問い合わせ先] NPO法人ねおす事務局
〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条14丁目1-14
tel 011-615-3923 fax 011-615-3914
E-mail：npo@neos.gr.jp
URL <http://www.neos.gr.jp>

=====

手稲さと川探検隊 川の生きもの調べ(4)
手稲山から流れる川で、どんな場所にどんな生き物が
いるか、これまで3回、川に入って調べてみました。今
回は川から出て周りを見てください。

身近な川の周りに森があったらいいなあって思いませんか?
手稲山から移動してくる森の鳥や、ウサギ・リスなどの
小動物が棲み、セミが鳴きクワガタもいる、そして川
にも豊かな生き物が暮らす、そんな潤いのある、遊
べる空間を取り戻せるかもしれません。

[日時] 10月23日(日) 10:00～13:00
[場所] 手稲本町市民の森周辺

集合は、手稲本町市民の森入り口
[対象] 小学生以上(小学生は保護者同伴)定員15名
[参加費] 300円(保険代200円含む)
[服装] 寒くないよう防寒着 長靴(森を歩きます)
[持ち物] タネと苗を入れるふくろ、飲み物、(昼食)
森で観察する道具を持ってきてもいいよ。

[申し込み方法] E-mail、FAX、電話
[申し込み期限] 10月20日(木)18時
[申し込み・問い合わせ先、主催] 手稲さと川探検隊
TEL090-1305-747 鈴木 FAX 011-684-4487
Eメール：aasuzuki@pop11.odn.ne.jp
URL：http://t-satogawa.hp.infoseek.co.jp//

=====
 障害のある方のパソコン活用を支援するボランティア
 養成講座を開催します。(北海道の委託事業です。)
 枝幸町(10月8日、9日)
 倶知安町(10月15日、16日)
 北広島市(10月22日、23日)
 受講料: 無料
 受講申込み 札幌チャレンジの以下のHPからお申
 込み下さい。

<http://www.s-challenged.jp/do-volu.html>

定員: 各会場20名(先着順)
 <申込み・お問い合わせ>
 〒065-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 札幌ビ
 ル8階 札幌チャレンジ
 電話 011-219-1810 FAX 011-219-1811
 e-mail: challenged@s-challenged.jp

第三回外国人医療を考えるフォーラム

医療現場におけることばのコミュニケーション

ご案内: 北海道における外国人医療の状況をご存知です
 か? 4年間外国人医療と異文化交流を重ねてきたエス
 ニコが、全国で外国人医療に尽力されている素晴らしいゲ
 ストをお招きし、「言葉のコミュニケーション」をテーマ
 にフォーラムを開催します。

開催日: 2005年11月2日(水)~3日(木)
 場所: 札幌市北区北8条西3丁目エルプラザ
 参加費: 第一日目 一般¥1,500 学生¥1,000(資料代込み)
 第二日目 一般¥1,800 学生¥1,200(資料代込み)
 二日通し券 一般¥3,000 学生¥2,000(資料代込み)
 二日目昼食は別料金: ¥800(飲み物込み)

フォーラムプログラム予定

第1日目 11月2日(水) 場所: エルプラザ3階ホール
 18:30 開場 18:45 開演 主催者挨拶
 北海道における外国人医療の実情: エスニコの活動から
 19:00 パネルディスカッション
 「医療現場における言葉のコミュニケーション」
 パネリスト: 村木茂弘さん:(株)KDDI 総研主幹研究員
 高嶋愛里さん: 多文化共生センターきょうと医療通訳チ
 ーフコーディネーター、看護師、保健師
 村松紀子さん:(財)兵庫県国際交流協会外国人県民イン
 フォメーションセンター相談員スペイン語担当、医療通訳
 研究会代表
 コーディネーター: 芦田科子:(特活)エスニコ代表理事
 21:00 終了

第2日目 11月3日(木) 場所: エルプラザ4階大研修室
 9:45 開場
 10:00 多文化に挑む全国の医療機関: 村木茂弘さん
 行政相談窓口から見た外国人医療: 村松紀子さん
 11:50 昼食
 12:30 講師にインタビューコーナー:
 押味貴之さん: 医師、日本英語医療通訳協会理事、米国
 CCHCP 公認医療通訳トレーナー
 13:15 医療通訳コーディネーターのお話と
 ワークショップ: 高嶋愛里さん
 15:00 ディスカッション
 16:00 終了
 連絡先: NPO 法人 エスニコ
 〒060-0042
 札幌市中央区大通西16丁目1-13 けいほくビル2F
 URL <http://www12.plala.or.jp/s25/>
 E-mail s25@xpost.plala.or.jp
 TEL 011-640-2825 FAX 011-640-2890

助成金情報

インターネット環境にないNPOのみなさまへ~「助成金
 を申請したいが、情報を上手く収集できない」という声を
 良く聞きます。

最近の助成金は、募集要項や応募用紙をインターネット
 から取得(ダウンロード)する方式が増えています。また、
 さまざまな助成金情報をインターネットから取得するこ
 とができます。

北海道NPOサポートセンターでは、インターネット環
 境にないNPOの為に、

IT推進NPOの紹介 パソコンの導入設定・インタ
 ーネット環境整備支援 助成金情報取得支援/助成金
 申請サポートを行っています。(地域によって対応でき
 ない場合があります)詳細はお問い合わせください。
 電話011-204-6523(担当:畑)

下記の助成金情報については助成元からの依頼情報(抜
 粋)です。インターネット環境にないNPOのみなさんに、
 募集要綱などのFAXサービスを行います。(NPO推進北
 海道会議または北海道NPOサポートセンター会員への
 サービスです。)

日本財団 申請〆切 10月31日

対象となる団体・事業

財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人(特定非営
 利活動法人)、ボランティア団体などが行う非営利活動・
 公益事業。分野・テーマは問いません。(国庫又は他の公
 営競技や宝くじの補助を受ける事業や趣旨や活動が政治、
 宗教、思想、営利などの目的に著しく偏る団体、事業は対
 象外とします。)

重点テーマ 分野・テーマは問いませんが、以下に掲げ
 る重点テーマに沿った事業を優先的に助成します。

1. 海や船に関する事業
 <重点テーマ> (1)船舶、海運に関する技術の研究・開発
 と産業の基盤強化
 (2)海洋に関する研究及び情報の整備
 研究者及び専門家の人材育成
 教育を通しての海洋問題に関する情報提供
- (3)航行の安全確保及び海上災害対策
 (4)「海」「船」についての理解促進
 地域の博物館が行う企画展の開催等
 地域の「海」や「船」による水に親しむ活動
 造船所を活用した産業理解を促進させる活動
 海洋に関する地域文化の伝承活動
2. 文化、教育、社会福祉等に関する事業
 <重点テーマ>
 (5)生涯スポーツの充実(1)
 (6)芸術文化への協力
 (7)子どもの健全育成
 子どもたちの感性を豊かに育む活動
 虐待など生活環境に問題のある子どものための活動
- (8)改修・改装による福祉拠点の充実
 改修による新規福祉拠点の整備
 既存宅老所の改装
 小規模作業所の改装
- (9)障害者の地域生活支援
 (10)森林・竹林整備や里地・里山の保全
 (11)犯罪被害者に対する支援
 (12)郷土の文化資源を活用した地域づくり
 (13)ホスピスケア充実のための活動
 (14)ハンセン病制圧活動の推進

(1) NPO 法人やボランティア団体が実施する大会・講習会などは、同じく競艇の売り上げを原資とする笹川スポーツ財団が別途募集いたします。

詳細は、下記ホームページから

<http://www.nippon-foundation.or.jp/index.html>
(インターネット環境にない団体は、北海道NPOサポートセンターに問い合わせください。(担当:小林))

三井物産株式会社環境基金 10月31日〆切

助成対象団体

NPO 法人で、活動実績が3年以上の団体。

助成対象案件

日本国内における下記の地球環境問題の解決に係わる案件で、自己資金の比率が20%以上であるもの。営利目的の環境ビジネスは対象としません。

- (1) 地球気候変動問題 (2) 水産資源の保護・食料確保
(3) 表土の保全・森林の保護 (4) エネルギー問題
(5) 水資源の保全(6) 生物多様性及び、遺伝子組換え等のバイオテクノロジーに関連する生態系の保全
(7) 持続可能な社会構築のための調査とネットワーク(様々な主体との協働)

助成期間 2005年1月より原則3年以内。複数年にまたがる案件は1年毎に継続審査。助成金額 総額約1億円を予定。1案件当たりの上限は設定しません。但し、案件の効率的な実施に必要な金額。

選定 12月頃決定いたします。

お問合せ先および申請書類の提出先

三井物産環境基金事務局

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1

TEL: 03-3285-7655

E-mail: MBK-Kankyokikin@mitsui.com

独立行政法人福祉医療機構助成金 10月31日〆切

「長寿・子育て・障害者基金」事業における「一般分」「地方分」「特別分」募集

- ・平成18年度長寿社会福祉基金
- ・平成18年度高齢者・障害者福祉基金
- ・平成18年度子育て支援基金
- ・平成18年度障害者スポーツ支援基金

重点分野【1】認知症高齢者を介護する家族の負担軽減に関する事業 【2】障害者の自立生活・就労の支援に関する事業 【3】子育て支援のネットワークづくりに関する事業 【4】児童虐待に関する活動への支援強化事業

【5】新しい障害者スポーツの啓発・普及事業

新しい活動の支援について

長寿・子育て・障害者基金では、これまでも全国的な活動から地域の実情に即したきめ細かな活動、あるいは独創的・先駆的な活動など、民間の福祉活動に幅広く対応してきましたが、今後は、さらに多種多様な福祉ニーズに対応していくため、保健医療との連携を進める事業など分野横断的な取組みを行う事業や、事業の対象者を基金の別や制度の別にとらわれず幅広くとらえて取り組む事業など、新しい発想に基づく従来の枠を超えた活動について積極的に支援していくこととしています。平成18年度助成への応募にあたっては、この点を踏まえて事業内容を検討願います。

(「一般分」お問い合わせ先)

・厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

電話: 03-5253-1111内線2868

(「地方分」「特別分」お問い合わせ先)

・独立行政法人福祉医療機構 基金事業部 振興課

電話: 03-3438-9946

詳細は、 <http://www.wam.go.jp/wam/>

北海道「一村一雇用おこし支援事業」

10月31日(月)〆切

【主旨】市町村との協働により、市町村の地域づくりと連動して地域の特色を活かした新規開業・新事業展開等を図る事業者を支援し、新たな雇用を創出する。

【補助対象者】雇用保険法の摘要事業を行う次の法人・個人等。1 中小企業者、2 中小企業団体、3 NPO 法人、4 その他地域づくりに資する団体。ただし、直近の6ヶ月間、従業員を事業主の都合により解雇していないこと。

【対象事業】市町村から推薦と支援を受けて地域づくりに資する次の事業

新規開業・新規事業展開等により取り組む、市町村の基本構想又は独自に策定・公表している地域づくり計画等の推進に寄与する事業。

【補助対象経費】事業を実施するために、平成17年度に発生する賃金と事業費を補助します。・賃金: 一般被保険者30万円/人、短期間被保険者10万円/人・事業費: 補助率1/2以内で250万円を限度くわしくは、下記ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】北海道経済部雇用対策課

電話: 011-231-4111

<http://www.pref.hokkaido.jp/keizai/kz-kyots/neo-kotai/index/index.htm>

キリン福祉財団 11月2日〆切

「地域に根づく小さな福祉活動」を公募形式で応援するもので、今回で12年目を迎えます。平成17年度までに612の民間団体に累計1億7600万円を支援してまいりました。少子高齢社会にあつて、次代を担う子ども達の健全な育成は緊急の社会的課題となっております。子育てについては、地域社会でのボランティアによる支え合いのしくみを創り、互いに支援しあうことが強く求められております。キリン福祉財団は、民間の企業財団の一つとして、国や市区町村の施策と相まってその責務の一端を負うべきものと考えております。本年度の公募事業につきましては、テーマは「地域における子育て支援ボランティア活動」となります。

対象団体 地域福祉活動を目的とする民間団体で、4名以上のメンバーが中心となって活動するグループで、法人格の有無は問いません。

事業実施期間 平成18年4月～平成19年3月

助成金額 1件(一団体)当りの上限額30万円

助成開始時期は、平成18年4月下旬以降となります。

お問合せ先 (財)キリン福祉財団事務局

〒104-8288 東京都中央区新川2丁目10番1号

TEL 03(5540)3522

FAX 03(5540)3525

ホームページ <http://www.kirin.co.jp/foundation>

JT 青少年育成に関するNPO助成制度

2006年度助成募集要項 11月15日〆切

【助成の主旨】現在の日本の社会は様々な課題を抱えており、中でも重要な課題として、地域コミュニティの再生が挙げられます。当社では、その課題を解決していくのは社会を構成する「人」と考え、人材育成、とりわけ次世代の社会を担っていく「青少年の育成」に焦点をあてて、非営利法人(NPO)が地域社会の核となつて行う事業で、青少年の健全な育成につながる事業に助成を行います。

本プログラムは、「福祉の増進」「社会教育の推進」「環境の保全」など分野を区切った助成ではなく、「青少年の育成」をテーマとした、分野を問わない助成となります。

募集内容

1. 応募資格について

(1) 法人格
非営利法人で、かつ2005年9月30日時点で法人として1年以上の活動実績を有する法人。

(2) 事業実施期間
2006年4月1日～2007年3月31日に実施を計画している事業であること。

2. 助成内容について (1) 対象経費
申請事業に関わる事業費および人件費。

(2) 限度額 年額最高200万円。
(3) 助成件数 30件程度を予定しています。
(4) 対象事業

非営利法人が日本国内において、地域社会の核となって実施する青少年の健全な育成につながる事業。例えば、青少年が地域社会へ参画する事業、青少年が様々な人々と交流または様々な体験をする機会を提供する事業、青少年を育成するための指導者・リーダー等の養成、あるいはこうした事業の基盤整備(体制、プログラム、場所等の整備、広報)など。

育成の対象となる青少年は、小学生から高校生までを考えています。

日本たばこ産業株式会社パブリックリレーション部社会貢献室 〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1JTビル
TEL: 03-5572-4290
FAX: 03-5572-1441

トヨタ財団地域社会プログラム

11月21日〆切
趣旨 基本テーマ「地域社会の再構築を目指して-支え合うくらしといのち-」のもと、以下の目的で公募を実施します。

1. グローバル化にともない空洞化や荒廃にさらされている、「くらしといのち」を支える場である「地域社会」の再構築と活性化を目指す。

2. また、そのような再構築と活性化に取り組んでいる地域の人々や地域に根ざした活動を結びつけるネットワークづくりを狙いとする。

助成の対象 助成分野として、以下の2分野です。

(1) 活動助成

地域社会の再構築と活性化を目指し、地域にくらす人々が主体となった実践的なプロジェクトへの助成。1件あたりの助成金の上限は200万円とします。

(2) 成果普及助成(以下2カテゴリー。1件当り助成金上限は(A)100万円程度、(B)400万円とします。)

(A) 地域社会の再構築と活性化を目指した活動の具体的な成果を、他の地域で類似な実践をしている人たちと比較、共有することを目的とした「活動記録の出版」。

(B) 地域社会の再構築と活性化を目指した活動の経験からたくわえられたものを、地域間で共有し広めるための「広域ネットワーク」。

トヨタ財団 / 〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿三井ビル 37階
TEL 03-3344-1701 / FAX 03-3342-6911

日本郵政公社

11月30日〆切
「日本郵政公社が年賀寄附金配分による社会貢献事業への助成金申請を公募します」
年賀寄附金配分事業は社会貢献事業の「物」、「活動」の両分野をカバーする日本有数の助成金です。

1件あたりの配分上限金額は500万円といたしました。前回の配分決定件数と申請件数の比率は50%弱となっています。(平成17年度に配分を受けた法人の方は、今回は申請できません。) 可否の通知は平成18年4月末を予定しています。

応募対象: 社会福祉法人、更生保護法人、民法第34条の規程に基づく法人(社団法人、財団法人)等および特定非営利活動促進法に基づく特定非営利活動法人(NPO法人)で以下の対象事業を行うもの

対象事業: ア社会福祉の増進を目的とする事業 イ風水害、震災等の非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業 ウがん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業 エ原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業 オ交通事故の発生もしくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業 カ文化財の保護を行う事業 キ青少年の健全な社会教育を行う事業 ク健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業 ケ開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業 コ地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業

助成金額: 1件あたり上限500万円(下限特になし) 総額約8.8億円(前回実績)

問合せ先: <http://www.post.japanpost.jp/kifu/>
にあるFAQ、あるいはあるいは最寄りの郵便局
〒100-8798 東京都千代田区霞が関1丁目3番2号
日本郵政公社 郵便事業総本部 年賀寄附金事務局
電話 03-3504-4401 FAX 03-3580-5399(土日祝日を除く10:00~17:00 除く12:00~13:00)

今月は、ほかにも多数の助成金情報があります。詳しくは、シーズ[市民活動を支える制度をつくる会]の「NPO-WEB」を参照してください。

<http://www.npoweb.jp/>

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事 田口 晃 (北海学園大学教授)
杉岡 直人 (北星学園大学教授)
杉山さかえ (北海道グリーンファンド 理事長)
事務局長 佐藤 隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 杉山さかえ 事務局長 小林董信

NPO法人 北海道NPOバンク

理事長 杉岡 直人
NPOバンク事業組合 理事長 高木 晴光

NPO法人 北海道NPO越智基金

代表理事 田口 晃 事務局長 北村美恵子

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL(011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@npo-hokkaido.org

URL <http://npo-hokkaido.org/>

相談センター/研修室

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
札幌ビル8階 電話011-271-5208

FAX 011-281-8807